

■ 本学学生が河内長野市「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業に参画 ■  
学生主体のまちづくり活動「南花台 <sup>やたい</sup>家台プロジェクト」を実施  
～ 9月3日(土)「家台お披露目パーティー」にて新たな“まちの使いこなし方”の提案に向けて ～

関西大学環境都市工学部建築学科 建築環境デザイン研究室(指導教員:江川直樹教授)の学生グループは、学生主体のまちづくり活動「南花台 家台プロジェクト」にて、9月3日(土)に〈家台〉をお披露目し、新たな“まちの使いこなし方”を提案します。

「南花台 家台プロジェクト」とは、大阪府河内長野市の「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業に参画し活動しているプロジェクトです。〈家台〉とは、団地周辺の屋外を使いこなすために、ホーム(家)を持ち出すツールとして位置付けた造語です。空き地の利用交渉や屋外での営業許可など、個人では乗り越えることが大変なハードルを〈家台〉によって実現可能なものにしていきます。このプロジェクトを通して、地域の住民や活動に共感してくれる方との“つながり”やこれからの“まちの使いこなし方”のプロセスを考え、空き地や道路・公園といった公共空間など、南花台で活用しきれていない“外”の空間を使いこなして、同地域の魅力を生かしながらまち全体で暮らしを楽しむことを目的としています。

郊外開発団地が立ち並ぶ河内長野市南花台地区は、これから急激な高齢化・人口減少が進むと予想されています。そのような中、「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業が2014年9月に開始され、現在も産学官民が連携して様々な事業を進めています。「スマートエイジング・シティ」モデル事業は、「大阪府市医療戦略会議提言」の7つの具体的戦略の1つであり、ヘルスケアやエイジングをコンセプトとして、今いる住民が住み慣れた地域で安心して快適に住み続けられ、かつ多様な世代の新たな住民を惹きつける、超高齢社会の活気ある“まち”の実現を目指す取り組みです。

本学建築環境デザイン研究室では、大規模集合住宅団地を持続性の高い集住環境に再編する技術を開発し、実践に生かすことを目的に研究・活動を行っています。河内長野市においても、2014年に南花台団地を対象とした団地再編コンペを主催し、2015年にはコミュニティ拠点「コノミヤテラス」の開設や、地元の小・中学生と一緒に地域資源である河内材を使用した「カヌーづくりプロジェクト」を実施するなど、南花台地区の課題解決と活性化につながるまちづくりの提案を行ってきました。

つきましては、本取り組みを通じて「地域活性化」「大学(学生)と地域の協働」「交流拠点の活用」の現場をご覧いただくことができますので、ご多忙のところ恐縮ですが、取材についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【今後の予定】

- ・8月1日(月)～31日(水) 家台づくり(場所:南花台旧西小学校)
- ・8月17日(水) 10:00～ 河内長野学びのツアー(場所:南花台滝畑ダム)
- ・9月3日(土) 家台お披露目パーティー(場所:未定)

※その他、学生たちは随時活動を行っております。これまでの取り組み等の詳細は、別添資料ならびに南花台地域ポータルサイト「咲っく南花台.com」(<http://nankadai.com/>)をご参照ください。

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当:石田、寺崎  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266  
[www.kansai-u.ac.jp](http://www.kansai-u.ac.jp)

この伝統を、超える未来を。

